

# 大学発アーバンイノベーション神戸 研究成果報告書



大学発アーバンイノベーション神戸  
University's Urban Innovation Kobe

研究課題名：北区を中心とした神戸市域における地域所在資料の保全と活用

研究期間：令和6年7月～令和8年3月

交付決定額(研究期間全体)：411千円

申請区分：人文・社会科学型  
課題番号：A24108

研究代表者：神戸大学大学院人文学研究科  
特命講師 井上 舞

# 1. 研究成果の概要

## 地域歴史資料の保全

### 1. 神戸市北区八多町での自治会文書整理

- 江戸時代～昭和期にかけての資料群。
- 年貢・村入用等、村の運営に関する資料のほか、近代の有馬郡に関する資料も多数。
- 調査開始以前に、地域の方により一部資料について整理が進められ目録も作成。
  - 現在の保管場所で長く保管することを前提に、整理を実施（計9回）。
  - 既存の目録の精査、未調査資料の目録作成、資料表紙の撮影、保全処置を実施。
  - 写真約2000コマ、目録の見直し・新規目録作成約300点。
  - 想定よりも資料点数が多かったため、整理完了には至らず。

### 基本の整理手順

現状記録



クリーニング



付番



目録作成



撮影



保全処置

# 1. 研究成果の概要

## 地域歴史資料の保全

### 2. 神戸市北区八多町の個人所蔵文書の調査

- 大正～昭和期の家業に関する資料。
- 金銭出納帳、書簡、等。

→ クリーニング・付番・保全処置を実施。

### 3. ニュータウンが保管する自治会文書の調査

- 神戸市北区のニュータウン内の自治会文書。
- 昭和中期以降の会議録・写真等。

→ 現地での調査、資料状態の確認。

→ 地域の現状についての聞き取り



# 1. 研究成果の概要

## 地域歴史資料の活用

### 1. 神戸市北区八多町での資料展示

- 2025年11月8日に開催された八多町の町民文化祭において、整理した自治会文書の一部を展示
- 年貢関係、尼崎藩土砂留奉行の巡検時の支出の記録などの江戸時代の資料のほか、昭和初期の八多村青年団に関する資料などを展示

- 八多町域の住民に地域資料の存在を周知
- 展示の観覧者より、文書の所在情報の提供を受ける

### 2. 講演会等での活動周知

- 井上舞「地域に残された資料（だ）からみえるものー神戸市内の歴史資料調査からー」神戸生涯学習カレッジ、於コミスタ神戸、令和7年9月30日

- これまでの活動の周知
- 地域資料保全・継承の呼びかけ



展示準備の様子



町民文化祭当日

## 2. 研究成果の学術的意義や社会的意義

### 地域資料の保全・調査

- 専門的な手法により地域資料の調査・整理・分析を進めることで、地域内における資料の恒久的な保全体制を構築し、今後の地域史研究・活用に資する基盤を整備。
- 現地調査の実施を通して、地域住民が歴史資料と接する機会を提供し、地域の歴史や資料への関心を醸成。また、地域住民と協働することにより、地域の暮らしや記憶を織り込んだ、地域に根ざした歴史像の構築に寄与。
- 行政との協働を通じて資料の所蔵状況を共有し、発災時の文化財保護や、地域振興・教育等の分野への活用の可能性を提示。

### 地域資料の活用

- 展示・講演を通じた成果の発信を通して、文書を所蔵する自治会にとどまらず広く地域歴史資料の魅力を伝えることで、関係人口を含めたコミュニティの形成に寄与。

### 課題

- 整理・調査完了後の持続的な保管体制の構築 →長期的に推移を見守る必要性。
- 資料の利用・公開（特に災害時）に関する合意形成 →さらなる議論が必要

## 3. 研究開始当初の背景

### 地域歴史資料の現状

- 地域社会の変容による、地域歴史資料散逸の危機
  - ・ 跡継ぎの不在、家じまい、断捨離等による地域歴史資料の廃棄・散逸
  - ・ コミュニティの希薄化による、地域歴史文化の継承困難（コロナ禍を経て加速）
  - ・ 大規模自然災害の発生による、地域歴史資料の被災・消失

### 神戸市の抱える課題

- 市域、特に北区における人口減少・少子高齢化。
- ニュータウンのオールドタウン化。
  - 神戸市域においても、地域歴史文化の継承が困難な状況が発生。

### 神戸市における歴史資料調査

- 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センターと神戸市との連携事業：平成14年以降神戸市内各地で事業を展開。
- 大学発アーバンイノベーション神戸事業「神戸市域に所在する文書群の調査・活用・公開に関する研究」（研究代表者：井上舞、令和3年～5年）において、神戸市内、特に神戸市北区の資料調査を実施。
  - 3年間の事業期間において神戸市北区の各所で未調査の資料を多数確認。
  - 地域の歴史資料を地域の中で保存・活用していける体制の構築が急務。



## 4. 研究の目的

- 近年の急激な地域社会の変容による、地域歴史資料の廃棄・散逸を防ぐための実践的研究として、地域住民と協働した資料の整理・調査を通して、地域住民を軸とした地域歴史文化を保全・継承する手法を検討し、将来的な神戸市域の歴史理解の充実を図る。
  - ヴァナキュラーな生活文化資源について地域住民を交えた活動を展開し、「地域歴史遺産」化することで、過疎・オールドタウン地区における関係人口を含めたコミュニティ維持を目指す。
  - 地域歴史資料の保全と所在把握にかかる官・民の協力体制を構築し、日常の文化財防災体制を確立させる。
- ※ 地域歴史遺産：地域に残された、地域の歴史を明らかにするための様々な歴史資料をめぐり、多様な人々との持続的な関係性に注目する概念。

## 5. 研究の方法

### 研究対象地域

- 神戸市北区八多町
- 神戸市北区幸陽町

### 研究体制

- 井上舞（研究代表者/神戸大学大学院人文学研究科）：研究の統括、八多地区の地域資料の調査
- 松下正和（研究分担者/神戸大学地域連携推進本部）：ニュータウン関係資料の調査・研究
- 北神区役所八多出張所（連絡先担当者）：八多地区における調査の調整等
- 神戸市文化スポーツ局文化財課（連絡先担当者）：地域史料の所在把握と防災に関する調査の調整等

### 研究の方法

- ① 地域住民と協働した資料調査を通して、地域内での資料保管・継承の方法を検討・実践。
- ② ニュータウン地区の自治会保管資料を活用を通して、当該地域の生活文化史の再構成と地域活性化を検討。
- ③ 近世、近代資料を活用した地理的歴史的空間の再構成と地域活性化に取り組む。
- ④ 文化財防災の一環として、官・民による資料の所在情報の共有と発災時の情報公開の在り方について検討。



## 6. 研究成果

### 講演

- 井上舞「地域に残された資料（だ）からみえるもの—神戸市内の歴史資料調査から—」、神戸生涯学習カレッジ、於コミスタ神戸、令和7年9月30日

### その他

- 町民文化祭での展示：於八多ふれあいセンター、令和7年11月8日

## 参考文献

- 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター『歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業』（1）～（24）、2003年～2026年
- 神戸大学大学院人文学研究科編『地域歴史遺産の可能性』岩田書院、2013年
- 奥村弘・村井良介・木村修二編『地域歴史遺産と現代社会』神戸大学出版会、2017年